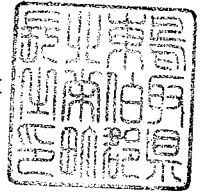


受 産 第 4 0 6 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

鳥取県 北栄町長 松本 昭夫



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のあった標記の件について、
別紙のとおり回答します。

- 1 道路関係事業費の配分は、交通量や人口などで決めるのではなく、公共交通機関(新幹線)・高速道路の整備率や道路利用率を基準としたその県が道路をどれだけ必要としているかを判断して決めること。
- 2 道路利用者や車所有者が納めている税金を道路関係以外の事業に使用することは絶対に容認できない。
(本町は農業どころであり、1戸あたりの車保有台数が多い。)
- 3 工事発注について、契約の適正化・業務形態の見直し・天下りの廃止を行い、一切の無駄をなくすこと。
(地方はあらゆる無駄を省くための努力を精一杯実施している。)

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

鳥取県北栄町

○現状

- 1 雇用確保のための企業誘致が思うように進まない。
- 2 観光施設への観光客が伸び悩んでいる。
- 3 第3次医療施設まで搬送するのに60分以上かかる。
- 4 農産物や商工業製品の物流に時間がかかる。
- 5 国道9号線で重大事故が発生した場合、一般道が渋滞になる。
- 6 町道(車歩道・橋梁)の老朽化が進み維持管理費が年々増加している。
- 7 平面交差の踏切が多く通勤時は渋滞になる。
- 8 高齢者が安心して通れる歩道が少ない。

○課題

- 1 高速道路(山陰道や北条湯原道路)の完成。
- 2 同上
- 3 同上
- 4 同上
- 5 同上
- 6 道路維持管理事業補助制度の緩和及び補助率のアップ。
- 7 立体交差の踏切の整備
- 8 歩道幅員の確保及びバリアフリー化。

②-2 地域の目指すべき将来像

高速道路のネットワークが出来上がり、山陰道と北条湯原道路の交差点付近にフル規格のインターチェンジのある、人・物・金がスピーディに動く活気のある町。

- ① 企業誘致が可能となり雇用の確保ができる。
- ② 県外からの観光客の増加が見込める。
- ③ 農産物・商工業製品の物流のスピード化が見込める。
- ④ 第3次医療への60分以内到達が可能になる。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

鳥取県北栄町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他